

## 全 全国植樹祭プレ大会開催 国植樹祭を盛り上げよう

平成25年春にとっとり花回廊で開催予定の「第64回全国植樹祭」を1年後に控え、プレ大会が5月20日にとっとり花回廊（鶴田）で行われ、約1,100人が参加をしました。

横路孝弘衆院議長から託されたアカマツの苗木とアジサイが、西伯小6年の西田彩音さんと会見第二小6年の荒金海智くんより平井知事と坂本町長に引き渡され、参加者はアカガシやエゴノキなど14種類約1,500本の苗木を植樹し、森林の役目や郷土の自然を見つめなおしました。

アトラクションでは、警察音楽隊に続いて西伯小学校の金管バンドが演奏されました。

県内での全国植樹祭は、大山町で開かれて以来48年ぶりで2回目。天皇、皇后両陛下による、お手植え行事や記念式典が予定されています。



1 シンボルキャラクター・トッキーノも大活躍！



2

2 参加者全員で記念植樹が行われました



3

3 西田さんと荒金くん、大役お疲れ様でした



4

4 西伯小金管バンドも演奏で大会を盛り上げました

## こ ち ら 振 興 協 議 会

あいみ富有の里

### 先進地の視察研修を実施

あいみ富有の里では、地域住民が出資してマーケットの運営を引き継いで活動をしている、広島県安芸高田市川根振興協議会の視察研修を行い、13人が参加しました。

川根地区は人口640人の農山村地で、農協の経営合理化によりマーケットとガソリンスタンドが廃止。「地域唯一の店舗が消えれば高齢者は生活できない。自分たちがやらねば人が住めない地域になる」と、1世帯1,000円を出資し、同協議会が運営しています。要望があれば豆腐1丁でも配達すると言ったきめ細かな運営がなされ、農業や高齢者福祉対策にも積極的に取り組まれていました。

「買い物難民・交通難民を出さないために、今こそ先進地に学び、自分達で出来ることは自ら行い、出来ないことは行政に提案する」といった地域振興協議会の原点に立ち、その出番であることを自覚した研修会となりました。



協議会が運営している店舗

東西町

### 「復活・再生」オリジナル絵馬を製作

“楽しい東西町にしたいナ～”と22年10月から、知恵を出し合い、教え合い、語り合いながら何かの役に立てたら最高に嬉しい、という人達の集いの場「東西町遊友くらぶ」を立ち上げました。

この度、古事記編纂1300年の記念の年であり、また震災後、日本再生の出発ともなるこの時に「復活・再生」をテーマにした赤猪岩神社の手作りオリジナル絵馬を、遊友くらぶの会員を中心として製作、販売することにしました。県内外からの参拝者に勇気と希望を与えとともに、地域の絆をさらに深め、安心安全な町づくりにつなげることになればと思っています。

今後巨大絵馬を製作し、東北の被災地に絵馬と一緒に希望と元気をお届けしたいと考えています。



押し絵でつくった赤い猪のオリジナル絵馬